

Neues in Nara

Nr.48

2014年6月20日

Japanisch-Deutsche Gesellschaft Nara (JDG-Nara)

奈良日独協会 (会長 河野良文) 奈良市大安寺 2-18-1 大安寺内

Tel/0742-61-6312, Fax/0742-61-0473

<http://www.daijanji.or.jp/jdgn/index.html>

編集委員：林 (hayashiy@zeus.eonet.ne.jp) 峯本 (hmine-24@m3.kcn.ne.jp)



“これは会員相互のコミュニケーションツールです。皆様からの情報は編集委員へ”

●行事予定

1. ビア・アーベント

日時：7月26日(土) 17時30分～19時30分

場所：大安寺境内(雨天決行)

参加費：2,500円(学生1,500円)

家族・友人をお誘い頂き、多数のご参加をお待ちします(詳細は同封の案内チラシを参照願います)。

2. 第6回シュタムティッシュ

現在企画中で、9月に開催予定。詳細決まり次第ご連絡致します。

●行事報告

1. 奈良日独協会・平成26年度年次総会開催

5月18日(日)14時から 大安寺で開催され、河野会長の開会挨拶の後、会員の藤澤一夫さんを議長に選出。全ての議案が提案通り承認されました。



2. 第5回シュタムティッシュ「うたの宝物(輝き)」

同18日(日)年次総会の後、同催事棟で開催。

ソプラノ歌手岡田

由美子理事の司会でドイツ国歌から始まり、ドイツ語による君が代、ドイツと日本の民謡・歌曲をみんなで合唱、楽しいひと時を過ごしました。



●「シュタムティッシュ事始め」

(シュタムティッシュ担当：足立勝洋)

会員相互間の更なる親睦と世代間の交流を深める場の一環という意味で、シュタムティッシュを始めて一年が経ちます。現在は、三ヶ月に一遍くらいのペースで、持ち回りで話題提供者を決めてやっております。話題はドイツ関連に限らず多種多様なご経歴の中から、ご提供頂いております。今後、若い世代の会員の方々、近辺在住の海外留学生・社会人の人達の参加が増えればよいと思います。またいつの日かもっと気軽に、ビール・ワイン・お茶を楽しみながら駄弁る本来のシュタムティッシュもできればと思います。気軽に話題をご提供頂ければ有難いです。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

●会員だより

会員の藤井 薫さんから

「ハイデルベルク城のベストスポット」



私が10年ほど暮らし「第二の故郷」と思っている大学と古城の町、ハイデルベルクのベストスポットをご紹介したい。ハイデルベルクに来たら、なにはともあれケーンニヒシュトール山の中腹にあるハイデルベルク城へ旧市街の端にあるケーブルカーで、あがっていただきたい。選帝侯の居城で華やかだった城であるが、実は7世紀の2度の戦争により、ノイシュバンシュタイン城とは違って致命的に破壊されている。しかし、お城の建物の前面が当時をしのぶ形で残り、年月の経た赤色砂岩の城はドイツで最も風情のある城とされている。

特筆すべきは、フリードリッヒ館を背にしたテラスからの眺めである。当時ハイデルベルクの観光ガイドをしていた私が、このテラスへお客様を案内すると、必ずと言っていいほど歓声があがる。それを聞くのは、こちらまで嬉しかったものだ。眼下広がる旧市街の赤い屋根の町並み、ネッカー川、対岸のハイリゲンベルクの緑の森、一気に飛び込んできて、忘れがたい印象を胸に刻んでいただけるベストスポットだ。

旧市街を先に見てきた人なら、聖霊教会や、マルクト広場、アルテ・ブリュッケ(古い橋)などが確認できるだろう。このテラスには、大きな足跡というか、くぼみが残されている。伝えによると、選帝侯の妃が若い騎士をベットの引き入れて浮気の真っ最中。ところが、狩りに出て行ったはずの選帝侯が突如帰ってきて、びっくりした浮気相手の騎士は、取るものもとりあえず靴だけはいて、妃の部屋の窓から飛び降りたときの足跡が、これとされている。この足跡にぴったり合う人は、浮気性かも?お試しあれ。旧市街に降りて「古い橋」から見ると、フリードリッヒ館のテラスは城の正面にあたり、夕方になると間接照明があたり、とても美しい。私のベストスポットをご紹介したが、ハイデルベルクに来たら、ここが私のベストスポットと思える場所を、探して歩いていただくのが、旅の醍醐味というものだろうと思う。

●新入会員の紹介

中山 遼さん(奈良市)が入会されました。